



第59回
栃木県公衆衛生学会抄録集

令和3（2021）年9月1日（水）

オンライン開催

栃木県公衆衛生協会

栃 木 県

趣 旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。

しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。

そこで、県内の公衆衛生関係者が一堂に会し、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催します。

また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。

第61回栃木県公衆衛生大会 第59回栃木県公衆衛生学会 令和3(2021)年度救急医療週間記念大会

プログラム

I 公衆衛生大会・公衆衛生学会・救急医療週間記念大会式典

- 1 開 会 (10:30)
- 2 式 辞 大会長 栃木県知事 福田 富一
- 3 挨 拶 学 会 長 栃木県公衆衛生協会会長 稲野 秀孝
(栃木県医師会会長)
- 4 表 彰 保健衛生事業功労者 知事表彰
〃 大会長表彰
救急医療功労者 知事表彰
公衆衛生学会発表優秀者 学会長表彰
- 5 来賓祝辞
- 6 受賞者代表挨拶
- 7 記念講演 「新型コロナウイルス感染症のこれまでとこれから」
講師／川崎市健康安全研究所所長
岡部 信彦 氏
- 8 閉 会 (12:30)

Ⅱ 公衆衛生学会

1 口演発表（オンライン開催） (13:30)

① 第1会場

演題区分 疫学・保健医療情報、保健行動・健康教育、親子保健・学校保健、地域社会と健康、精神保健福祉、感染症、その他

座長 中村 好一 (自治医科大学教授)

〃 草野 英二 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)

② 第2会場

演題区分 生活習慣病・メタボリックシンドローム、親子保健・学校保健、難病・障害の医療と福祉、精神保健福祉

座長 小橋 元 (獨協医科大学教授)

〃 天野 託 (精神保健福祉センター所長)

③ 第3会場

演題区分 ヘルスプロモーション、高齢者のQOLと介護予防、健康危機管理、食品衛生・薬事衛生、環境保健

座長 八木沢 和夫 (栃木県生活衛生課長)

〃 渡辺 晃紀 (県西健康福祉センター所長)

④ 第4会場

演題区分 食品衛生・薬事衛生、環境保健

座長 高梨 弘幸 (栃木県環境保全課長)

〃 小林 由典 (栃木県薬務課長)

2 口演終了 (15:00)

第59回栃木県公衆衛生学会の会場別演題

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

第1会場 (疫学・保健医療情報、保健行動・健康教育、親子保健・学校保健、地域社会と健康、精神保健福祉、感染症、その他)

No.1～No.3 座長 中村 好一 (自治医科大学教授)

No.4～No.6 座長 草野 英二 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	乳がん検診におけるマンモグラフィ・超音波検査分離併用方式の検討	大橋 由貴	栃木県保健衛生事業団	疫学・保健医療情報	11	13:35
2	青壮年期の生活習慣と保健サービスニーズに関する調査分析	平石 恭子	宇都宮市保健所健康増進課	保健行動・健康教育	13	13:45
3	栃木県民はこの痛みで悩んでいます	星野 訓昭	栃木県柔道整復師会	地域社会と健康	16	13:55 14:05
4	精神保健福祉センターにおける頻回自傷・自殺未遂者を対象としたスキルアップデイケアについて	稲村 哲男	精神保健福祉センター	精神保健福祉	19	14:15
5	無症状者を対象とした新型コロナウイルス感染症抗原定量検査の実施状況報告	太田 千晴	栃木県保健衛生事業団	感染症	22	14:25
6	キヤノンメディカルシステムズの製品安全活動について	佐伯 英雄	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	その他	25	14:35
⑦	足浴によるリラクゼーション効果に対する湯温の影響	高石 雅樹	国際医療福祉大学	疫学・保健医療情報	28	
⑧	「子育て世代包括支援センター」機能としての妊娠期の相談支援の取り組み	本橋 奈緒子	日光市健康福祉部健康課	親子保健・学校保健	31	

演 題 目 次

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

第2会場 (生活習慣病・メタボリックシンドローム、親子保健・学校保健、 難病・障害の医療と福祉、精神保健福祉)

No.1～No.3 座長 小橋 元 (獨協医科大学教授)

No.4～No.5 座長 天野 託 (精神保健福祉センター所長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	国保データベース(KDB)システムのデータを活用した特定健診未受診の要因分析	栗田 淳弘	栃木県国民健康保険団体連合会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	37	13:35
2	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)を通して見えた母子の実態 第6報 -EPDS・質問票Ⅲ質問票実施後の陽性者と継続支援-	菊地 美砂子	真岡市こども家庭課	親子保健・学校保健	40	13:45
3	パーキンソン病関連疾患患者・家族会におけるマイ・タイムラインの作成について	宮田 瑛菜	栃木健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉	43	13:55 14:05
4	小学生のネット・ゲーム依存予防に向けての取り組み	藤田 京子	ウエルネス・メンタルヘルス研究所	精神保健福祉	46	14:15
5	矢板健康福祉センターにおける自殺予防対策の取り組みについての考察～地域全体で見守るシステムの構築に向けて～	塚越 梢	矢板健康福祉センター	精神保健福祉	49	14:25
⑥	市町国保と協会けんぽにおける特定健診受診率に係る特性の考察	高瀬 英子	栃木県保険者協議会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	52	
⑦	栃木県におけるBMIと生活習慣の相関解析～医療ビッグデータを用いた研究～	加藤 英明	国際医療福祉大学	生活習慣病・メタボリックシンドローム	55	

演 題 目 次

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

第3会場 (ヘルスプロモーション、高齢者のQOLと介護予防、健康危機管理、 食品衛生・薬事衛生、環境保健)

No.1～No.3 座長 八木沢 和夫 (栃木県生活衛生課長)

No.4～No.5 座長 渡辺 晃紀 (県西健康福祉センター所長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	HACCPによる衛生管理手法の導入について	宗像 昭浩	日本サーファクタント工業株式会社	食品衛生・薬事衛生	61	13:35
2	栃木県内の公共用水域水質測定結果の長期変動解析(河川編)	菊池 隆寛	栃木県保健環境センター	環境保健	64	13:45
3	有機フッ素化合物(PFOS/PFOA)分析法の検討	高橋 直人	鬼怒水道事務所	環境保健	66	13:55 14:05
4	コロナ禍における栃木県食生活改善推進員協議会の取り組み～地域住民の低栄養・フレイル予防～	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会	ヘルスプロモーション	69	14:15
5	新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるアクティブシニアの生活変化と地域包括支援センターにおけるフレイル予防の取り組み	大西 耕平	大田原市中央地域包括支援センター	高齢者のQOLと介護予防	72	14:25
⑥	日光市栗山地域生活実態調査から見た健康課題と今後の取組みについて	藤井 美穂	日光市健康福祉部健康課	ヘルスプロモーション	75	
⑦	感染症に対するベトナム工場の対応	柳堀 和生	フォルテグロウメディカル株式会社	健康危機管理	78	

演 題 目 次

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

第4会場 (食品衛生・薬事衛生、環境保健)

No.1～No.3 座長 高梨 弘幸 (栃木県環境保全課長)

No.4 座長 小林 由典 (栃木県薬務課長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	夏季における海風を含む南風発達時の気象条件が県内PM2.5特性に与える影響について	佐藤 翔大	栃木県保健環境センター	環境保健	83	13:35
2	県内の環境中に排出される廃プラスチック類に関する調査(第2報)	神野 憲一	栃木県保健環境センター	環境保健	86	13:45
3	湖沼への地下水を介した流入フラックスの定量化に関する研究	人見 敬一	栃木県保健環境センター	環境保健	89	13:55 14:05
4	清涼飲料水中の安息香酸、サッカリンナトリウム及びアセスルファムカリウムの一斉分析法	松下 和裕	県南健康福祉センター	食品衛生・薬事衛生	91	14:15
⑤	栃木県内に流通する農産物の残留農薬検査結果(2011～2020年度)	齋藤 仁美	栃木県保健環境センター	食品衛生・薬事衛生	94	
⑥	新型コロナウイルス感染症流行下における令和2年度の食品検査の実施状況について	鈴木 貴行	栃木県保健衛生事業団	食品衛生・薬事衛生	97	
⑦	非イオン界面活性剤の分析法の検討	土倉 森絵	鬼怒水道事務所	環境保健	100	

注 意 事 項

1 発表される方へ

- ① 発表の順序及び発表者の変更は、原則として認めません。
- ② 発表時間は8分以内です。質疑討論時間は2分以内です。
- ③ 時間の経過はベルでお知らせします。
(7分経過：ベル1回 8分経過：ベル2回 10分経過：ベル3回)
- ④ パソコン等の機器操作は、事務局側の指示に従ってください。

2 質疑される方へ

- ① 発表に関する質問、意見を述べる時は、必ず座長に従って下さい。
- ② 質疑討論は一括して行う時もあります。
- ③ 発言する場合は、所属・氏名を述べて下さい。
- ④ 質疑討論時間は、1題につき2分以内です。

3 御参加の皆様へ

- ① Cisco Webex Meetings を使用しますので、事前にパソコン等へのインストールをお願いします。
- ② 聴講者の方は、口演発表中はマイクを OFF にしてください。質疑がある時は、座長の指示に従い、マイクを ON にして質疑してください。
- ③ Cisco Webex Meetings の操作方法に関する御質問やお問い合わせにつきましては、事務局ではお受けできませんので、何卒御了承の程よろしくお願いたします。
- ④ 聴講者宛てにお知らせしているミーティング URL 及びミーティング番号は、栃木県の Web 会議等で使用しているものです。学会当日以外は、絶対に使用しないでください。